

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-2	政策名	生活基盤の充実	政策の 目指す姿	生活に必要な基盤が整い、 快適に暮らしています	施策 主管課	道路課	施策主管 課長名	重茂 猛
	施策No.	1	施策名	道路環境の充実	施策の 目指す姿	安全で利便性の高い道路が 整備されています	関係課名			
	現状と課題	・花巻市公共施設マネジメント計画およびストック総点検に基づく長寿命化修繕計画による将来を見据えた効率的な修繕の検討と財源の確保が必要です。 ・国道4号の山の神・村崎野はボトルネックとなっていて、慢性的な渋滞がおきているが、平成31年3月29日に東北地方整備局から計画段階評価を進めるための調査箇所決定され、また、国道4号山の神地区な交差点が新規事業化された。								

◎ 前年度の評価の振り返り

(前年度評価時の今後の方向性) ・公共施設等総合管理計画及びストック総点検に基づく長寿命化修繕計画により効率的な修繕の検討とその財源確保を図る。 ・国・県・北上市・金ヶ崎町・奥州市、国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会と連携し、国道4号花巻東バイパス、山の神・村崎野間の4車線化が実現するよう取り組んでいく。
(反映状況) ・橋長15m以上47橋、15m以下20橋及びJR跨線橋(万代橋外6橋)の橋梁点検を実施し、大沢橋補修設計を行った。 ・H30.4.19、8.1、10.11「国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会」による国土交通省、財務省への要望を行い、また、市独自による要望についても、H30.7.17～18に、さらに、今年度は、岩手県、北上市との合同要望もH30.12.18、H31.2.7に実施し、国に強く働き掛けた。こうした中、H31.3.29に「国道4号北上花巻道路」が国による計画段階評価を進めるための調査箇所決定され、また、「山の神地区交差点改良」が新規事業化に決定された。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 道路の整備・維持管理 ○主要幹線道路、都市計画道路、生活道路の整備 ・新設・拡幅改良工事、側溝整備を行った。 ○舗装修繕等の道路環境の維持 ・舗装修繕、道路構造物の補修を行った。 ○交通安全環境の整備 ・歩道の設置や歩道のバリアフリー化を行った。 ○国・県道の整備要望 ・国県道の整備について、関係整備促進期成同盟会や市独自複数回要望した。 ・国道4号拡幅要望(延長3km)について、北上市分2km分が都市計画未決定となっていることから早期に計画決定となるように働きかけた。花巻市分1kmについては、計画決定済みとなっている。 ○除雪体制の効率化 ・市域全体の道路除雪(1,887km)を実施した。また、除雪委託費等を迅速に行うため計算システムの導入や、路面状況の確認のためWEBカメラを設置することに、除雪の効率化となっている。
(2) 橋梁の整備・維持管理 ○橋梁長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の維持修繕や架け替え整備 ・橋梁の維持補修事業により、橋梁点検を行った。 ・橋梁整備事業により、豊沢橋の架替工事を行った。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市道の改良率	道路の整備状況を示す指標として、市民に最もわかり易い指標であるため。	道路改良率＝改良済延長／道路実延長	%	目標値	56.0	56.2	56.4	56.3	56.5	56.7
				実績値	55.9	55.9	55.9	56.1	56.2	
市道の舗装率	道路の整備状況を示す指標として、市民に最もわかり易い指標であるため。	道路舗装率＝舗装済延長(簡易舗装延長含む)／道路実延長	%	目標値	51.8	52.0	52.2	52.4	52.6	52.8
				実績値	51.7	52.0	52.1	52.2	52.5	
歩道の整備延長	道路整備の状況を示す指標として、市民に最もわかり易い指標であるため	歩道延長（設置延長を路線延長で表示）	m	目標値	174,080	174,380	174,530	182,011	184,211	186,411
				実績値	177,086	178,611	178,848	180,247	180,930	

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>・平成30年度実績 改良率・・・改良済延長1,861,089m/市道実延長3,310,219m×100=56.2% 舗装率・・・舗装済延長1,737,765m/市道実延長3,310,219m×100=52.5% (参考)H29年度実績 改良率・・・改良済延長1,855,161m/市道実延長3,308,383m×100=56.1% 舗装率・・・舗装済延長1,726,976m/市道実延長3,308,383m×100=52.2%</p> <p>■成果指標「市道の改良率」・・・【達成度 b】 事業が進行中であるため改良済とならない場合や、また、用地交渉中のケースがあり指標に反映されなかった。</p> <p>■成果指標「市道の舗装率」・・・【達成度 b】 事業が進行中であるため指標に反映されなかった。</p> <p>■成果指標「歩道の整備延長」・・・【達成度 b】 事業が進行中であるため改良済とならない場合や、また、用地交渉中のケースがあり指標に反映されなかった。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結	
1	生活道路維持事業 生活道路の安全・安心を確保するため、修繕や補修、除排雪の維持管理を行う。 (舗装修繕 7.1km、補修件数 308件、市域全体の除雪回数 3回)	道路課	一致	直結	C
			A		
2	生活道路整備事業 安全で快適な道路網を構築するため、市道の新設・拡幅改良及び現道舗装、側溝整備を行う。 (道路改良 2.7km、現道舗装 0.5km、側溝整備 1.5km、防雪柵 2箇所)	道路課	一致	直結	B
			A		
3	橋梁維持事業 予防保全型維持補修により橋梁の長寿命化を図り、通行の安全を確保する。 (橋長15以上149橋、JR跨線橋5橋の橋梁点検を実施し、12橋の補修設計を実施。)	道路課	一致	直結	A
			A		
4	橋梁整備事業 安全で快適な道路網を構築するため、市道橋梁の架け替えを行う。 (豊沢橋の架け替えを実施)	道路課	一致	直結	B
			A		
5	交通安全環境整備事業 歩行者の安全・安心を確保するため、歩道の設置やバリアフリー化等の整備を行う。 (歩道設置 1.0km)	道路課	一致	直結	B
			A		
6	道の駅整備事業 道の駅を核とした地域の連携強化を図るため整備を行う。	道路課	間接・ 少数	直結	-
			B		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p>
<p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・生活道路維持事業において、舗装修繕件数・延長について、天候不順や大雨による災害への対応があったことから目標値を下回る結果となったが、成果の向上のため、台風等による大雨シーズン前の早期発注に努める。</p> <p>・交通安全環境整備事業において、支障物件(電柱等)の移設、また、地権者との交渉に時間を要したことにより目標値を下回る結果となったが、成果の向上のため、発注計画や発注時期の検討に努める。</p>
<p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・立地適正化計画に基づく公共交通によるネットワークの実現に向け、城内大通り一丁目線の整備を進める。</p> <p>・歩道のない橋梁について、橋梁拡幅による歩道の設置が可能であるか検討する。</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・ストック総点検(橋梁、舗装、道路付属物、法面・土構造物)に伴う点検経費、点検に伴う修繕経費が増高し、道路法に基づく5年に1回の定期点検(橋梁、トンネル)の点検経費や修繕経費も加わるため、将来を見据えた計画的に効率の良い修繕と財源の確保が必要である。</p> <p>・国道4号山の神・村崎野間はボトルネックとなっており、慢性的な渋滞がおきており、救急搬送や通院、工業・流通団地への通勤や流通に支障をきたしており、また、北上工業団地周辺では企業立地も活発化していることから、国道4号の渋滞化は、今後、さらに深刻化することが予想されることから、早期に花巻東バイパスを含め4車線化にする必要がある。</p>
<p>(今後の方向性)</p> <p>・公共施設等総合管理計画及びストック総点検に基づく長寿命化修繕計画により効率的な修繕の検討とその財源確保を図る。</p> <p>・国道4号の山の神地区交差点改良の早期完成と花巻・北上市境における2車線区間の4車線拡幅整備の早期事業化について、「国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会」や岩手県、北上市と連携し国に強く働き掛ける。</p>